

FASF/ASBJ 設立 15 周年記念シンポジウム

挨拶

FASF理事長 かま かずあき
釜 和明

日頃は当財団の活動にご理解ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。また、本日は、お忙しい中、財務会計基準機構/企業会計基準委員会（FASF/ASBJ）の設立 15 周年記念シンポジウムにご参集いただき、誠にありがとうございます。本日のシンポジウムの主催者として一言ご挨拶させていただきます。

当財団は、市場関係者の皆様の幅広いご支援により、2001 年 7 月に設立されました。当財団は、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準の調査研究・開発、ディスクロージャー制度その他企業財務に関する諸制度の調査研究及びそれらを踏まえた提言並びに国際的な会計制度への貢献などを行うことにより、わが国における企業財務に関する諸制度の健全な発展と資本市場の健全性の確保に寄与することを目的として設立され、本年、15 周年を迎えるに至っております。

当財団としては、設立以降、運営を軌道に乗せるために、様々な課題にも対処してまいりました。中でも、財団の財政基盤に直結する会員加入については、発足当初、大変に苦労しましたが、初代の小林理事長、前任の萩原理事長の下で、関係団体のご協力を得て、大幅に会員数の増加を図ることができました。当財団の会員には、上場企業、監査法人をはじめとして幅広くご加入いただいておりますが、上場企業の会

員数について申し上げますと、発足当初の 2002 年 3 月には 1,000 社余りの上場企業の加入にとどまりましたが、この 2016 年 10 月には、3,399 社の上場会社にご加入いただき、加入率では 93.7%、東証一部上場企業でみれば 99% を超すなど、おかげさまで財政基盤の確立が図られつつあるところです。この場をお借りして、会員の皆様、そして関係団体の方々に厚く感謝申し上げる次第でございます。

本日のシンポジウムでは、これまでの当財団及び企業会計基準委員会の活動を振り返るとともに、今後の活動に向けて、関係者の皆様から



ご意見を賜りたく存じます。

まず、金融庁総務企画局長の池田唯一様より基調講演を行っていただきます。その後、「企業会計基準委員会のこれまでの活動と今後期待される役割」と題したパネル・ディスカッションを行います。本日は、これまでの歴代の企業会計基準委員会の委員長及び各セクターを代表される方々をお招きしております。第1部では、これまでの企業会計基準委員会の活動を振り返り、企業会計基準委員会の基盤を確認したいと思います。第2部では、現在、IFRSの任意適用の拡大を推進しているところではありますが、IFRSの導入に対する取組み及びIFRSの導入に関する企業会計基準委員会の役割について議論したいと思います。

資本市場のグローバル化が一層進む中、経済のインフラとして会計基準の重要性はますます高まるものと考えられます。当財団では、今後とも、市場関係者の信任を得られるよう活動を行っていく所存でありますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。本シンポジウム主催者からのご挨拶とさせていただきます。